

3月11日に発生した東日本大震災では、多くの犠牲者と甚大な被害をもたらしました。
我が福島県は福島県第一原子力発電所による事故もまだ収束していない状況にあります。

しかし、今こそ私たち福島県民は手と手を取り合い、
復興へ向けて着実な一歩を積み重ねて行くことが大切です。

私たち福島こどものみらい映画祭は、映画上映を通して元気のみなもと・心のよりどころを創出し、
復興への活力を提供していきたいと考え、福島こどものみらい映画祭2011を開催するとともに、
県内各仮設住宅等での移動映画上映会などの震災復興プロジェクトを開催します。

福島 こどものみらい 映画祭



こどもの目線、おとなの視点。

2011 **11.19** SAT
10:00 ▶ 17:30

会 場

会津大学 [講堂]

**入 場
無 料**

●忍たま乱太郎上映●フラガール上映●フラガールによるフラダンスステージ
●ふくしま映画塾塾生による作品発表●シンポジウム「ふくしま」～揺るがない想いへ
●福島県内の8ミリフィルムで撮影したなつかしい風景を編集し公開

先着500名様 お席に限りがありますのでお早めにお越しください。



★サブ上映会
入場無料

2011 **11.14** MON ▶ **17** THU
時間: 18:00 ▶ 20:00

先着
30
名様

会 場 ■コミュニティーステーション teco(テコ)
会津若松市大町一丁目9-5 アメリカヤビル1階
上映作品・・・警察日記、やるべえや、ハナばあちゃん、春色のスープ

主催:福島こどものみらい映画祭実行委員会 後援:福島県・会津若松市・会津大学・福島民報社・福島テレビ・ふくしまFM
特別協賛:株式会社ゆで太郎システム・信越食品株式会社 共催:福島県男女共生センター



映画祭
シネマール東北
会津若松市大町一丁目9-5

「ふくしま」～揺るがない想い～

私たち福島県民は「復興」というテーマのもとに絆で結ばれています。

絆を深めることで県民に連帯感・一体感が生まれ、生きる

活力・未来への希望につなげていけるものと考えます。



福島こどものみらい映画祭

福島こどものみらい映画祭とは…

これまで私たちは、未来を描き、創り、そして「子ども」たちへ、その形と想いをつないできました。いま、「子ども」を取り上げた映画はたくさんあります。その背景は「家族」だったり、「仲間」だったり、「平和」だったり、「環境」だったり様々です。未来を担う「子ども」というファインダーを通して、「子ども」も大人も社会を見つめ直し、次代に受け継いでいける価値ある社会を創りたいという想いから、この映画祭は誕生しました。

2011 **11.19** SAT 10:00▶17:30

会場 **会津大学** [講堂] **入場無料**



当日のスケジュール(予定)

10:00	開会 / 来賓挨拶
10:20	忍たま乱太郎上映
12:00	昼休み 休憩
12:40	フラダンスステージ
13:00	シンポジウム ■「ふくしま」～揺るがない想い～ 県が呼びかけ8ミリフィルムを収集した 映像アーカイブ事業をもとにした作品を上映
14:30	ふくしま映画塾 塾生作品発表
15:30	フラガール上映
17:30	終了

★サブ上映会 入場無料

2011 **11.14** MON▶17 THU 時間:18:00▶20:00

先着
30
名様

会場 ■コミュニティステーション teco(テコ)
会津若松市大町一丁目9-5 アメリカヤビル1階
上映作品…警察日記、やるべえや、ハナばあちゃん、春色のスープ

11月14日



■「男はつらいよ 柴又より愛をこめて」
かねてから結婚生活に不満をこぼしていた社長の娘あけみか家出した。思いあまった社長は、テレビの尋ね人コーナーに出演するが、本番で泣き出してしまい醜態を晒す始末。伊豆下田あたりでテレビを見ていたあけみかとらに電話がかかる――。

11月15日



■やるべえや
福島県南会津郡檜枝岐(ひのえまた)村に約260年間、受け継がれてきた村歌謡を取り上げたドキュメンタリー映画。花柳座の中高年齢者、地元の中学生に歌謡技を教える様子などが映し出される。作品は、少子高齢化や後継者不足など切実なテーマを取り上げている。

11月16日



■ハナばあちゃん
ハナばあちゃんの味と孫の看板娘「実香」、秋田犬の「狼」を支える大団の喫茶店。だがばあちゃんが突然倒れて逝ってしまう。店からにきわいは消えうせてしまった。ある日、ばあちゃんの遺品から見つかった1枚の古紙。店には妙な客たちが集まり始めた――。

11月17日



■春色のスープ
福島県のある地方都市。高校生の桃子は、父親と離婚した母に反抗し対立していた。ある日、桃子は福島のFMラジオ番組から流れてきた「最初の質問」という詩の朗読に聞き入ってしまう。バイトの休憩中に詩集を読んでいた桃子は先輩から盲学校での詩の朗読を頼まれる。

3日間で
映画を創る!!

ふくしま映画塾

10/8~10 いわき市にて開催
終了しました。

2011年度の映画塾の様子

映画制作を通して生まれる仲間たちとの絆、地域住民の方たちとのふれあいは、今の世の中に不足しているコミュニケーションづくりの一端を担う体験プログラムです。現在、第一線で活躍されている映画監督や脚本家の方々の指導のもと、子どもから大人まで参加者同士がかかわり合いながら脚本から撮影、編集までの映画製作を3日間で行います。製作された作品は後述のシンボルイベント会場にて上映します。



詳しい内容はHPにて公開中!!

<http://www.mirai-cinema.jp>

福島こどものみらい映画祭

検索



お問い合わせ

福島こどものみらい映画祭事務局

〒960-0719 福島県伊達市梁川町やなかわ工業団地90-1 シーアイエー株式会社内(担当:金岡)
TEL:080-5559-8510(携帯) FAX:024-577-7676